

会報

編集：協議会事務局



通常総会

京都情報サービス産業協議会の平成八年度通常総会は四月十九日、平安会館において十時から開催されました。来賓として京都府から商工部産業推進課参

平成八年度通常総会を開催

府下の情報サービス産業団体として発足後三年目を迎え、役員改選を含む平成八年度の事業計画が承認されました。

事伊藤秀一氏、同主幹手塚勝利氏、同産業技術係長奈田健氏、中小企業総合センター経営課長藤井康男氏、また京都市から商工部産業振興課長中野美明氏、同課長補佐小池泰夫氏のご臨席のもと会員十三社二十二名が出席（一社委任状提出）しました。開会にあたり白石会長の挨拶があり、議案審議では議長に会長が選出され、議事が進行されました。

第一、二号議案として平成七年度事業報告、決算報告、監査報告が行われ、異議なく承認されました。

第三号議案では規約に基づき初の役員改選が行われ、会長、副会長の再任、監事の新任、幹事の改選が承認されました。

第四号議案では規約の改定が審議され、副会長の定員枠を二名か

総会風景

組織拡大を柱に更に活発な活動を

白石会長の開会挨拶

協議会の開会に際しまして、一言ご挨拶申し上げます。本日は行政機関をはじめ多く

の会社が新年度をスタートし、大変お忙しい中、ご来賓の皆様、また会員の皆様の出席をいただき総会が開催できましたことは、日頃から皆さんの暖かいお力添えと感謝を申し上げます。ところで、日本の経済もこの一年で穏やかな回復基調へとわずかに明るさが見えてまいりました。情報サービス産業も売上高が平成六年十二月以来、前年同月を上回る回復を続けていますが、これまで大変な不況であったと同時に我々の業界では新しい技術革新が同時進行して、厳しい困難を乗り越えようとしています。その意味では大変打たれ強いと申し上げて良いとも思いますが、今後の本格的な回復に向けて大変大きな原動力につながるのでは、と思う次第です。このような背景の中で協議会はこの一年、組織拡大を目指して幹事の皆さんを中心に会員増強活動に積極的に取り組んでいただきましたが、この厳しい状況も要因としてあるかとも思いますが、残念ながら成果は得られませんでした。しかし、これまでの二年五カ月の間、種々の活動については他府県の団体活動にひけをとらないくらい会員の皆さんには熱心な研鑽に取り組み、大きな成果が得られたのではな

「デルタコール009」で世界中へ割安通信

日本コンピューターファシリティ株式会社

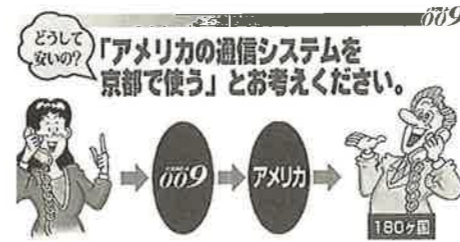
会員HOT ニュース

サイバースペースに技術集団の仮想会社

株式会社 アクシス

国際通信サービスの高度化・多様化および「もっと安く」に應えるため、JCFでは新しい国際通信システムのサービスを今年4月から開始されました。名称は「デルタコール009」で、世界各国へ利用できるものです。

通信料金はKDDに比べ、アメリカ、ヨーロッパで40%、アジア地域では40%~10%安く、しかも基本料金や設備費は一切不要。FAXや携帯電話、P



HS、パソコン通信も可能。ハガキで申し込みば会員登録され交換アダプタも用意されます。

通信事業の国際化をにらみ『中小企業創造活動促進法』『特定中小企業者の新分野進出等の臨時措置法』の適用を受け、事業化されたものです。

仕組みは、米の国際電話会社、スプリント社と提携し、ス社が日、米、欧、東南ア間などに敷設している専用回線を使ってサービスし、デジタル交換方式でつながるので、世界各国へ高品質、低価格で利用していただけるというものです。

JCF社内に設置されたス社の交換機経由でアメリカの通信システムに直接アクセスし、ここから世界180カ国の相手先に通話が可能。海外の通信先番号の頭に009をダイヤルする方式です。

すでに京都や大阪など近畿地域で営業活動を進められ、外国人観光客の多いホテルなどで加入を検討されているとのこと。田中社長は「国際化、情報化の一助になれば…」と、事業の拡大に意欲を燃やしておられます。

アクシスが開発された販売・在庫・利益管理システム「ラインプロ-2」は、汎用機からオフコン、パソコンと改変する中で、パッケージ商品として全国200社に販売されている。

クライアント・サーバーシステムを構築する過程でオブジェクト指向型の開発ツール「PowerSpace」を開発、これをベースにシステムを構築された。このツールはクラス設計に焦点をあてたもので、昨年



12月に市販も始められた。

システム開発を通して生まれる部品をクラス分けして管理し、ネットワーク上で必要な人が自由に利用できるようにする仕掛け（ソリューションブック）が「仮想会社」構想の発端である。

9月に仮想会社「㈱テクノスペース」の営業を開始予定で、資本金は1千万。役員4人だけで、社員はサイバースペース上の仮想社員ということになる。優れた技術を有し、独立心の強い、常に最新のテクノロジーに接して活動したい技術集団を結集する。すでにアクシス内にサーバーを置き、準備を進めておられる。

会員間で必要な部品の取引を自由にしてもらい、取引価格も両者で決めてもらう。部品の取引があった場合、両社から幾らかの取引料金をいただくという仕組み。当面は既存の顧客や関連会社を対象に会員化。将来的には、参加会員を増やし、クラス部品を増やしていきたいと考えられている。



KSS新宮専務が逝去

去る5月18日、協議会の前幹事で㈱京信システムサ

ービスの専務取締役・新宮乃武彦氏が、食道ガンのため一年近い療養の甲斐もなく、逝去されました。享年五十六歳。

新宮氏は、京都に業界団体を作るため、早くから他府県の実情調査や行政機関との調整など協議会の発足に奔走努力され、まさに協議会の「生みの親」と言える方でした。また、発足時から幹事として会の事業に積極的、建設的な意見を述べられ、協議会が順調に活動できたのも「業界がまとまって地域に貢献すべきである」という故人の強い意志があったためといっても過言ではありません。

協議会にとっては、まさにこれからの活躍を：という時に、真に惜しまれる訃報でした。故人の意志を継ぎ、協議会がますます発展するよう努めていくことを故人に誓い、ご冥福をお祈りしたいと思います。

合掌

いかと思っております。本日は平成八年度の事業計画等についてご審議をいただくわけでありますが、現会員の十四社が結束を強めていき、そして今後、色々な問題に取り組みにあたり、行政と手を携え、これまで以上に地域に貢献する業界団体として確立することが、会員全員の共通の目標であります。

今年はその意味では何が何でも組織拡大について会員が総力をあげて取り組んで行かなければならないのではないかと考えているわけでありまして、今年はこの協議会が発足して初めての役員改選を迎えました。積極的なご審議をいただき、より充実した活動が図れますように是非お願いしたいと思っております。

また本日は大変お忙しい中、ご来賓としてご臨席いただきました京都府・京都市の皆様には本日の審議の内容を十分にご承知を頂きまして、引き続きご支援、ご指導を重ねてお願い申し上げます。終わりに、今日ご出席いただいております皆様のご健勝と協議会の益々の発展を祈念申し上げます。開会の挨拶とさせていただきます。

以上のご挨拶をいただき、協議会が発足して二条で二年とし再任は妨げないとしております。この規定により、今回の総会では初任の役員改選となりました。総会では慎重な審議が行われ、総会議決として、会長と副会長が再任、監事が交代、さらに会長推薦の幹事として再任四名、新任二名が承認され、次の新体制がスタートしました。

役員・幹事を初改選 新体制がスタート

協議会の役員任期は規約第十二条で二年とし再任は妨げないとしております。この規定により、今回の総会では初任の役員改選となりました。総会では慎重な審議が行われ、総会議決として、会長と副会長が再任、監事が交代、さらに会長推薦の幹事として再任四名、新任二名が承認され、次の新体制がスタートしました。



白石雪翁 会長

先程の役員改選で今回、会長と副会長が再任、副会長として再選いただきましたが代表いたしました一言ご挨拶申し上げます。

- 会長 白石 雪翁 (再任)
- 副会長 小島 彌太郎 (再任)
- 副会長 小室 哲 (再任)
- 監事 諸岡 透 (新任)
- 監事 オムロンソフトウェア (新任)
- 幹事 池田 達夫 (再任)
- 幹事 植田 弘毅 (再任)
- 幹事 奥村 良三 (再任)
- 幹事 オムロンソフトウェア (新任)
- 幹事 佐々木 洋 (新任)
- 幹事 古川 峰生 (新任)
- 幹事 西田 公恒 (再任)

協議会が発足いたしました。本日は二条五カ月になりましたが、この間、昨年には水野副会長さんから小室副会長さんにバトンタッチされた局面が一つございませぬ。初代の協議会にはいろいろ問題がございましたが、役員として充分に責任を果せたかどうか大変窮するわけでありませぬ。けれども皆さんの絶大なご協力をいただき、とりあえず無事に努めさせていただきましたことを、まず会員の皆様へ厚くお礼申し上げます。

本日の改選で皆さんから改めてご信任をいただいたことは大変名誉な事だと喜んでおります。先程も少し、事務局から役員改選について私の考えについて触れられていたと思います。是非お聞きいただきたいと思っております。

諸岡 透 新監事挨拶



昨年7月にオムロン(株)からオムロンソフトウェア(株)に転社いたしました。以前は製造の生産設備に関するシステム関連事業に係わってまいりましたので、仕事のジャンルが多少違っていると思っております。また京都住まいが短いため地理がよくわからないことを追いつけて散策している状態にあります。

本協議会は白石会長を中心に皆さんが熱心に活動されてお聞きしております。皆様のお力添えを頂きまして役目を全うしたいと考えております。今後ともお引回しの程よろしくお願いたします。

新年度の事業計画を承認 『一会員一社紹介運動』を推進

情報サービス産業界にとって情報システムのトレンドが大きく変化する中で「技術革新にいかに対応していくか」を命題に八年度の事業計画として会員交流、会員相互の啓発、団体組織の拡大を基本にした、次の活動計画が承認されました。

- 〔事業計画〕の主項目
- 一、総会(年一回)
- 一、幹事会(毎月)
- 一、会員交流会(年四回、七、九、十一、二月)
- 一、技術部会(年四回、六、九、十二、三月)
- 一、会報誌の発行
- 一、FAXニュースの配信
- 一、組織強化「一会員一社紹介運動」
- 一、法人化研修
- 一、地域行政との連携「懇談会の開催」
- 一、企画「インターネット利用研究会」
- 一、会員体質の強化「技術部会の充実」
- 一、会員交流会の充実

以上の基本計画のうち、組織強化活動は「一会員一社紹介運動」を推進することになりました。会員資格の選定基準は特に設けず全会員の協力による勧誘をしていくこととしました。会員各位の勧誘活動が成果となることを期待されます。

このほか、業界団体としての組織確立を目指した法人化への具体的な条件や課題などを整理するための研修を行うことが計画されています。

来賓の祝辞



京都府 伊藤 参事

京都府からは来賓として出席していただいた伊藤参事が挨拶され、日頃の行政施策との連携と協力についてのお礼と、今後の高度情報産業社会で協議会が活躍できる舞台環境作りに積極的に取り組むべく激励の言葉がありました。また、京都産業情報センターの事業内容や最新の調査資料によるご報告をいただきました。最後に当協議会の総会開催に祝辞をいただきました。



京都市 中野 課長

京都市からは四月に着任されたばかりである中野課長から、「京都ますます元気アクションプラン」の推進に取り組んでおられ、全庁あげた具体的プログラムを企画中であるとの報告があり、特に産業面の諸施策では産

〔併催行事〕

中小企業総合センター
経営課長の説明会及び
京都新聞社編集局次長の講演

中小企業総合センター経営課長の藤井康男氏から「平成8年度の主要商工施策」京都産業情報センター「事業計画」および「府内主要業界の景気動向」について資料にもとづき説明いただきました。



編集局次長 芦原氏

また、午後からは京都新聞社の編集局次長(兼)政経部長の芦原正義氏にお願いし、「京都市長選挙と今後の政局」と題した記念講演会を開催しました。業界の立場からとは異なった視点で話を聴くことができ、将来の展望に対するグローバルな視野から新聞記者としての誇りと責任が感じられる講演でした。

平成7年度の協議会活動歴

「会員交流会」活動

- 第1回 会員会社の紹介 (7/27)
- 第2回 会員会社の紹介 (9/21)
- 第3回 「労働時間管理の上手なやり方」(12/7) 高木経営研究所：高木所長の講演
- 第4回 会員会社の紹介 (2/22)

行政懇談会

- 「京都市説明会」(7/6) “インターネットワーク京都”について
- 情報化月間企画 『近畿ブロック技術・市場交流プラザ 京都大会』(京都府主催)の後援 (11/14)

「技術部会」活動

- 第1回 「ソフトウェアの品質管理」(7/12) オムロンソフトウェア(株) 講師：中江 正雄 マネージャー
- 第2回 「C/Sシステムの見積方法」(12/21) 京都電子計算(株) 報告：辻 邦夫 部長 (株)京信システムサービス 講師：佐々木 洋 部長 中谷 博志 課長
- 第3回 「今後のテーマについて」(3/14) 懇談会を開催

- 一、全情連(ANIA)と連携「事業推進委員会」参加
- 一、「全国大会」参加
- 一、情報化月間行事の企画
- 一、会員名簿の内容充実